

# 【自治基本条例における市民と行政の連携のイメージ】

地域コミュニティの活性化の実現に向けては、そこに住む市民のみなさんが、その地域でより良く暮らしていくための取り組みを積極的に行うことが必要です。そしてそれは、行政だけ、市民だけで考えていくものではなく、お互いが連携し、支え合っていくことが重要です。また、自分たちの地域のことがらは、自分たちの責任で決定・実行することが、市民自治を実現することにつながります。

## 連携拠点 (公民館)

### 【公民館の功績】

住民の生活に即す教育、学術、文化などの社会教育活動に加え、レクリエーション活動や親睦活動という地域の結束力を強める活動のほか、環境改善や安心・安全活動という地域課題解決に向けたコミュニティ活動全般にまで拡大しています。

### 【今後求められる連携拠点としての役割】

現在、公民館は社会教育活動を主体とした地域づくりを行っていますが、近年は、防災、防犯、環境、福祉など多岐にわたる分野の現代的な課題が出てきており、それらを解決するために、さまざまなコミュニティが連携し、地域力を向上させる必要があります。

住民自治組織が主体となり取り組みます



参加



地域

市民は、コミュニティ活動の重要性を認識し、その活動に積極的に参加するよう努めます。



協働



行政

コミュニティの自主性、自立性を尊重し、その活動拠点の連携及び強化を図ります。また、連携拠点である公民館の機能及び施設の充実、整備に努めます。

支援

